

姫路市観光振興のためのAI技術の研究開発

工学研究科 上浦 尚武

キーワード

姫路市観光、インバウンド招致、人工知能、機械学習

研究概要

日本の人口減少に伴い、日本人観光客のみを相手にすることで観光産業を維持できなくなりつつあります。そのため、今後は外国人客をいかに観光地を集めるかが重要になると言われています。現在、フランスやスペインのような観光一流国では、外国人観光客数の対人口比が100%を超えている一方で、日本では10% (2014年) を超えたところです。日本の観光産業が成長するためには、外国人観光客の増加が必要であるとともに、彼らに対する対応の仕組み作りが重要と言えます。

姫路市には世界文化遺産・姫路城をはじめとする数多くの歴史資源のほか、地域に息づく行事や祭礼などの多様な資源があり、独自の文化圏が形成されています。本研究では、AI技術に基づき観光客への訴求力の高い姫路城と地域資源を有機的に結びつけ、インバウンド観光推進のためのシステム環境開発を目的としています。

アピールポイント

右図は、本研究の成果の一つである個人旅行向き姫路市観光コース作成システムによって得られたルートマップです。同システムは、市内各観光地をジャンル別に評価し、それらにユーザの好むジャンルおよび所在エリアについて加点調整した後、地図上でそのユーザのためだけの高評価スポットを巡る周遊ルートを推薦します。他に、機械学習に基づき、出身国別に魅力ある観光資源を発掘するシステムも開発しています。

応用分野

外国人観光客に対して、免税店や多言語対応店舗を適切にガイドするとともに、災害避難情報および感染症対策情報を提供するITサービスシステムも開発していきます。

